

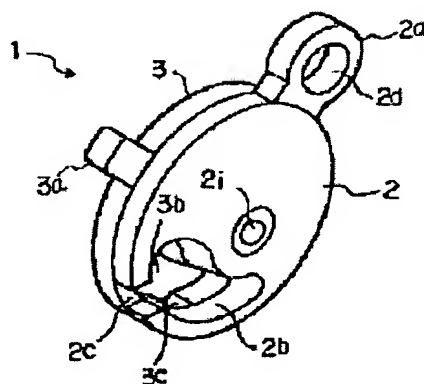
CLAMPING RING FOR NECKLACE OR THE LIKE

Publication number: JP8126506
Publication date: 1996-05-21
Inventor: WAKAIZUMI MASAO
Applicant: WAKAIZUMI MASAO
Classification:
- **international:** **A44C25/00; A44C25/00;** (IPC1-7): A44C25/00
- **europaean:**
Application number: JP19940292276 19941101
Priority number(s): JP19940292276 19941101

Report a data error here

Abstract of JP8126506

PURPOSE: To simplify an operation of clamping a necklace by making a fixed disk in which a clamping ring having a penetrating hole and a fixed disk inserting hole having a fixed disk notched part are formed fittedly-attached with a rotary disk in which a rotary disk inserting hole having a rotary disk notched part is formed. **CONSTITUTION:** This clamping ring is made in an open condition as notched parts 2c, 3c formed on a fixed disk 2 and a rotary disk 3 respectively are superposed on the same position when a projection 3a which is projection-molded on the rotary disk 3 is moved upwardly by fingertips, thereby the other end of a necklace can be inserted into a fixed disk inserting hole 2b and a rotary disk inserting hole 3b. The notched parts 2c, 3c are closed by releasing the projection 3a moved upwardly by fingertips and by making the projection returned to the original position by means of spring restoring force when the notched parts 2c, 3c are closed.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

IDS

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平 8 - 1 2 6 5 0 6

(43) 公開日 平成8年(1996)5月21日

(51) Int. Cl.⁶

A 4 4 C 25/00

識別記号

B

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求

有

請求項の数 1

F D

(全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-292276

(22) 出願日 平成6年(1994)11月1日

(71) 出願人 594174079

若泉 政夫

茨城県土浦市中村南5丁目31番13号

(72) 発明者 若泉 政夫

茨城県土浦市中村南5丁目31番13号

(74) 代理人 弁理士 中川 邦雄

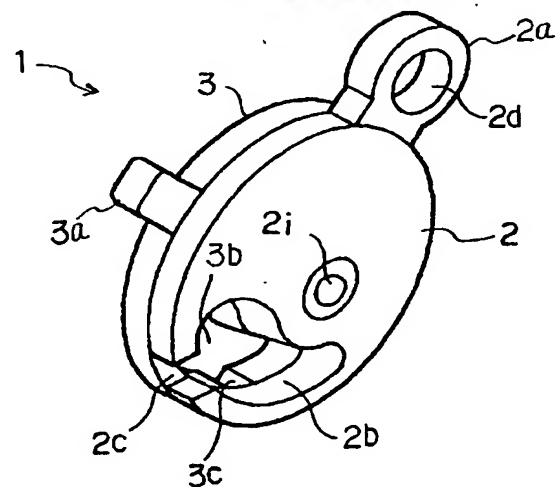
(54) 【発明の名称】 ネックレス等の止め金具

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、ネックレスを止めるための止め金具の改良に関する発明である。

【構成】 本発明は、貫通孔を有する止め輪及び固定円盤切欠部のある固定円盤挿通孔が形成されている固定円盤と回転円盤切欠部のある回転円盤挿通孔が形成されている回転円盤を嵌着させたことを特徴とするネックレス等の止め金具の構成とした。

斜視図



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 貫通孔を有する止め輪及び固定円盤切欠部のある固定円盤挿通孔が形成されている固定円盤と回動円盤切欠部のある回動円盤挿通孔が形成されている回動円盤を嵌着させたことを特徴とするネックレス等の止め金具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ネックレスを止めるために使用する止め金具の改良に関する発明である。

【0002】

【従来の技術】 従来のネックレス等の止め金具としては、実開平 6-21415 号の公開実用新案公報に記載されている止め金具がある。

【0003】 しかしながら、上記のような止め金具では、ネックレスを止めるために爪で操作するための突起があるが、この突起を爪先で操作するために爪先が割れてしまうとの欠点があった。また、突起は小さいためにネックレスを止めるために使用する際の操作が容易ではないとの欠点があった。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、操作が極めて容易であるとともに、爪先で操作する必要がなく、極めて使用勝手のよいネックレス等の止め金具を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、貫通孔を有する止め輪及び固定円盤切欠部のある固定円盤挿通孔が形成されている固定円盤と回動円盤切欠部のある回動円盤挿通孔が形成されている回動円盤を嵌着させたことを特徴とするネックレス等の止め金具の構成とした。

【0006】

【実施例】 次に、本発明について図面を参照して説明する。図 1 は本発明であるネックレス等の止め金具の正面図、図 2 は本発明であるネックレス等の止め金具の平面図、図 3 は本発明であるネックレス等の止め金具の背面図、図 4 は本発明であるネックレス等の止め金具の底面図、図 5 は本発明であるネックレス等の止め金具の左側面図、図 6 は本発明であるネックレス等の止め金具の右側面図、図 11 は本発明であるネックレス等の止め金具の斜視図である。本発明であるネックレス等の止め金具 1 は、固定円盤 2 と回動円盤 3 とからなり、固定円盤 2 と回動円盤 3 が嵌着されている。前記固定円盤 2 の上部には、図 1 及び図 2 に示すように、ネックレスの一端が係合するための貫通孔 2 d が設けられている止め輪 2 a が突出形成されているとともに、図 4 に示すように下部にはネックレスの他端を挿通し係合させるための切欠部 2 c がある挿通孔 2 b が形成されている。また、前記回動円盤 3 の下部には、図 3 及び図 4 に示すように、ネックレスの他端を挿通し係合させるための切欠部 3 c があ

る挿通孔 3 b が形成されているとともに、図 1 から図 4 に示すように、回動円盤 3 を矢印 a 及び矢印 b 方向に回動させるための操作突起 3 a が、回動円盤 3 の左部に形成されている。固定円盤 2 に形成されている挿通孔 2 b と回動円盤 3 に形成されている挿通孔 3 b の形状及び大きさは同一であるが、切欠部 2 c・3 c が形成されている位置が、図 4 に示すように、位置がやや異なっている。操作突起 3 a は、図に示すように、矢印 a 及び矢印 b 方向に回動する。即ち、回動円盤 3 自体が操作突起 3 a の操作と同じように回動するのである。

【0007】 図 7 は、本発明であるネックレス等の止め金具を構成する回動円盤の裏面の内部構造を示した図、図 8 は本発明であるネックレス等の止め金具を構成する固定円盤の裏面の内部構造を示した図である。図 7 に示すように、回動盤裏面 3 e には、固定盤 2 にあるバネ 2 h が収納されるバネ収納溝 2 f が形成されているとともに、固定盤 2 のガイドピン 2 g が収納されるガイド溝 3 g が形成されている。バネ嵌合溝 3 f の下方には、切欠部 3 c を有する挿通孔 3 c が形成されている。図 8 に示すように、固定盤裏面 2 e には、バネ 2 h を収納するためのバネ収納溝 2 f が縦長に形成されており、その収納溝 2 f の下方に突出しているシャフト 2 i に巻き付けるように取り付けられている。収納溝 2 f の下方には切欠部 2 c を有する挿通孔 2 b が形成されている。符号 3 d は、固定盤 2 のバネ収納溝 2 f に突出形成されているシャフト 2 i が挿入されるための挿入孔 3 d が形成されている。

【0008】 図 9 は本発明であるネックレス等の止め金具の突子を上方に動かし開放状態とした正面図、図 10 は本発明であるネックレス等の止め金具の突子を上方に動かし、開放状態とした背面図である。図 9 及び図 10 に示すように、回動円盤 3 に突出形成されている突起 3 a を矢印 a のように上方に指先で動かすと、固定円盤 2 及び回動円盤 3 に形成されている切欠部 2 c・3 c が同一位置に重なるために開放状態となり、固定円盤挿通孔 2 b 及び回動円盤挿通孔 3 b 内にネックレスの他端が挿入できるようになる。切欠部 2 c・3 c を閉止状態にする場合には、指先で上方に動かした突起 3 a を放せばバネ 2 h の復元力により元の位置に戻ることにより切欠部 2 c・3 c が閉止される。

【0009】 本発明であるネックレス等の止め金具は、全体的に円盤形状であるが、必要に応じて四角形状や六角形状等の多角形状に形成してもよい。

【0010】

【発明の効果】 本発明は以上に説明したような構成であるから以下の効果が得られる。第 1 に、ネックレスを止めるための操作が極めて容易であるとの効果がある。第 2 に、爪先で操作する必要がないために爪先が割れることがなく、使用勝手が格段に良いとともにデザインが極めてよいので高価なネックレスにもマッチするとの効果

がある。第3に、連結ピンが脱外することがないので、高価なネックレスを紛失することがないとの効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明であるネックレス等の止め金具の正面図。

【図2】本発明であるネックレス等の止め金具の平面図。

【図3】本発明であるネックレス等の止め金具の背面図。

【図4】本発明であるネックレス等の止め金具の底面図。

【図5】本発明であるネックレス等の止め金具の左側面図。

【図6】本発明であるネックレス等の止め金具の右側面図。

【図7】本発明であるネックレス等の止め金具を構成する回転円盤の裏面の内部構造を示した図

【図8】本発明であるネックレス等の止め金具を構成する固定円盤の裏面の内部構造を示した図。

【図9】本発明であるネックレス等の止め金具の突子を上方に動かし、開放状態とした正面図。

【図10】本発明であるネックレス等の止め金具の突子

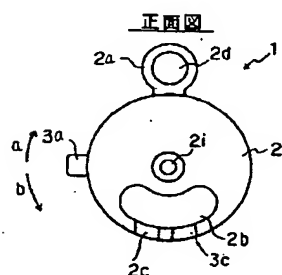
を上方に動かし、開放状態とした背面図。

【図11】本発明であるネックレス等の止め金具の斜視図。

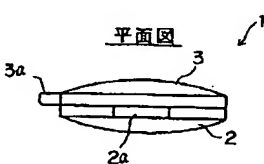
【符号の説明】

- | | |
|-----|---------|
| 1 | 止め金具 |
| 2 | 固定円盤 |
| 2 a | 止め輪 |
| 2 b | 固定盤挿通孔 |
| 2 c | 固定盤切欠部 |
| 2 d | 貫通孔 |
| 2 e | 固定盤裏面 |
| 2 f | バネ収納溝 |
| 2 g | ガイドピン |
| 2 h | バネ |
| 2 i | シャフト |
| 3 | 回転円盤裏面 |
| 3 a | 操作突起 |
| 3 b | 回転円盤挿通孔 |
| 3 c | 回転円盤切欠部 |
| 3 d | シャフト挿入孔 |
| 3 e | 回転円盤 |
| 3 f | バネ嵌合溝 |
| 3 g | ガイド溝 |

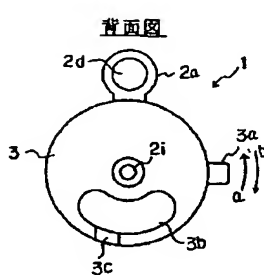
【図1】



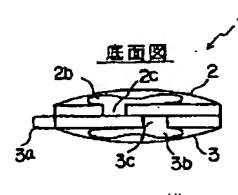
【図2】



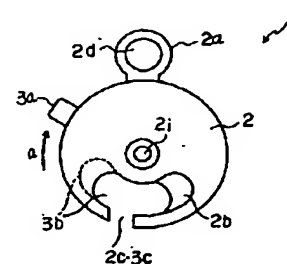
【図3】



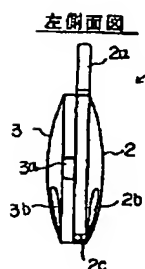
【図4】



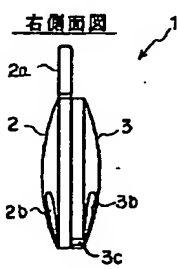
【図9】



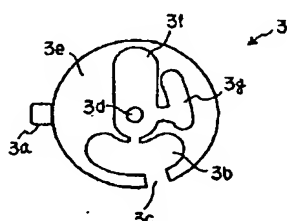
【図5】



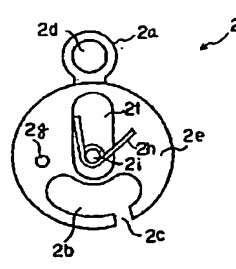
【図6】



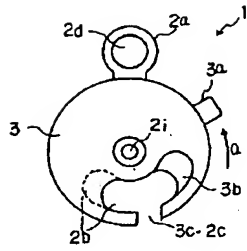
【図7】



【図8】



【図 10】



【図 11】

